

取扱説明書

ガス F F 暖房機

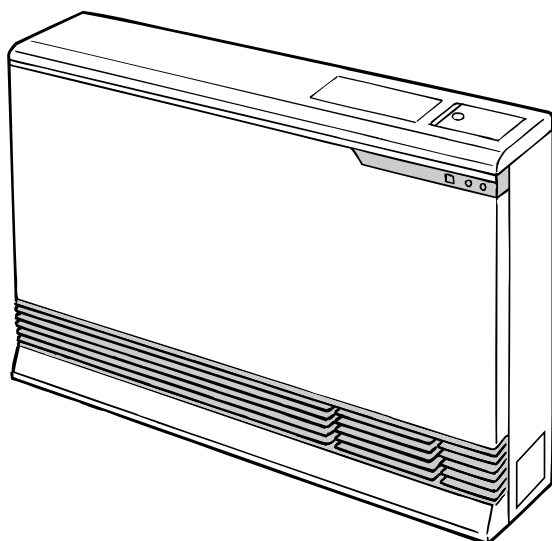
型式：RHF－1004FⅢ

リンナイ ガスFF暖房機

取扱説明書

品 名 RHF-1004FⅢ

形式の呼び RHF-1004FⅢ-1,-2



このたびは、ガスFF暖房機をお買い上げいただきまして、まことにありがとうございました。

■ご使用になる前に、この取扱説明書をお読みいただき、正しくお使いください。

■この取扱説明書の裏表紙が保証書になっています。内容をご確認のうえ、大切に保管してください。

■取扱説明書を紛失した場合は、お買い上げの販売店または当社の支社・支店・営業所・出張所にて再購入してください。

もくじ	ページ
安全に正しくお使いいただくために ……	1
機能と特長 ……	9
各部の名称とはたらき ……	11
使用方法 ……	13
初めてお使いになるときは ……	13
暖房シーズン前に注意していただきたいこと ……	13
操作ふたのカギのしかた ……	14
運転のしかた ……	14
停止のしかた ……	14
室温調節のしかた ……	15
急速暖房運転 ……	16
記憶機能 ……	16
加湿皿への注水のしかた ……	17
加湿皿注水ふたロックのしかた ……	17
加湿皿の取外しかた ……	18
風向き調節のしかた ……	18
お手入れのしかた ……	19
安全装置が作動したときの処置 ……	21
故障かな？と思ったら ……	23
長期間使用しない場合・保守点検 ……	25
アフターサービスについて ……	26
仕 様 ……	27
寸法図 ……	29
保証書 ……	裏表紙

安全に正しくお使いいただくために

この取扱説明書および機器への表示では機器を正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

 危険	この表示を無視して誤った取扱をすると、人が死亡、重傷を負う危険、または火災の危険が差し迫って生じることが想定される内容を示しています。
 警告	この表示を無視して誤った取扱をすると、人が死亡、重傷を負う可能性、または火災の可能性が想定される内容を示しています。
 注意	この表示を無視して誤った取扱をすると、人が傷害を負う可能性や物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

絵表示について次のような意味があります。

 一般的な 危険・警告・注意	 必ず行う	 一般的な禁止	 火気厳禁
 触れるな	 分解禁止	 発火注意	 電源プラグを抜け

設置時の注意

警告

- 機器の設置はお買い上げの販売店またはもよりの当社の支社、支店、営業所に依頼してください。

ご自分で設置工事をされ不備があると火災、一酸化炭素中毒、ガス漏れの原因になります。



依頼

- ガス接続は専門業者に依頼してください。

(ガス管は規定の強化ガスホースか金属管接続が必要です。)

正しく接続しないと、ガス漏れ、一酸化炭素中毒、火災の原因になります。

ガス配管接続工事には専門の資格、技術が必要です。機器の設置、移動、取外しの際には、必ずお買い上げの販売店またはもよりの当社の支社、支店、営業所へご相談ください。

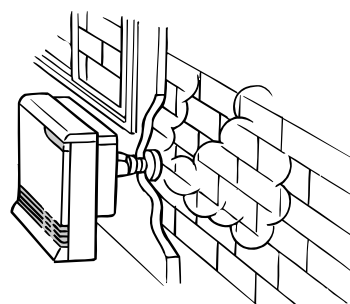


依頼

- 燃焼排ガスがよどまないか確認する。

給排気トップは、十分に開放された空間で、燃焼排ガスの滞留しない空間が必要です。

燃焼排ガスが障害物にあたって給気側に流入しますと、燃焼異常音が発生したり、不完全燃焼を起こしたり、運転停止したりする原因になります。

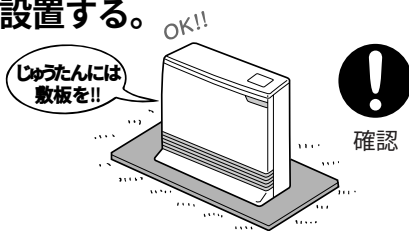


禁止

⚠ 注意

- 毛足の長いじゅうたんの上で使用する場合は、機器の底面より大きく安定の良い丈夫な板などを敷いて水平に設置する。

じかにじゅうたんの
上に置くと、じゅう
たんが変色すること
があります。



- 電気カーペットや温水マットの上に設置しない。

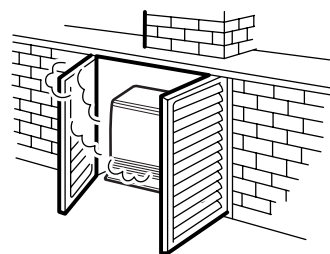
機器の重みで電気カーペットや温水
マットが故障する原因になります。

また、電気カーペットや温水マ
ットの熱で機器が正しい制御を
しないことがあります。



- 温風吹出し口の前にギャラリ (格子) を取付けない。

温度調節が正しく行われず火災の原因になります。



⚠ 危険

ガス漏れ に気づいたとき。

ガス漏れに気づいたときはガス事業者 (供給業者) の処置が終わるまでの間、絶対に火をつけたり電気器具 (換気扇その他) のスイッチの入・切や電源プラグの抜き差しおよび周辺の電話を使用しないでください。炎や火花で引火し爆発事故を起こすことがあります。

- ①すぐに使用をやめ、ガス栓とメーターのガス栓を閉じる。



- ②窓や戸を開けガスを外へ出す。



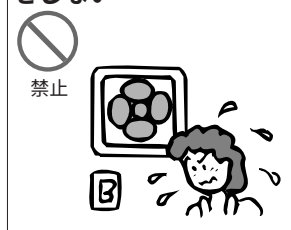
- ③お買い上げの販売店、またはガス事業者 (供給業者) に連絡してください。



火をつけない。
プラグの抜き差し
をしない。



電気機器 (換気扇など)
のスイッチの「入・切」
をしない



給・排気筒 の点検

- 給・排気筒が正しく接続されているか、また給排気トップ先端部がふさがれていないか確認する。

外れたり、ふさがれていると運転中に排ガスが室内に漏れ、一酸化炭素中毒の原因になります。



安全に正しくお使いいただくために

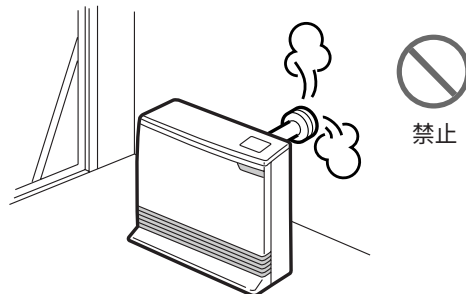
使用時の注意

⚠ 危険

排気について

●室内排気厳禁

異常燃焼し、一酸化炭素中毒の原因になります。



⚠ 警告

使用ガス・電源について

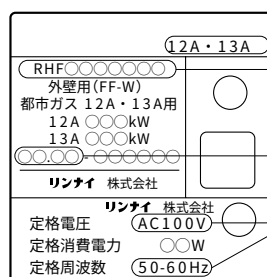
●機器銘板に表示してあるガス種（ガスグループ）、および電源（AC100V・50-60Hz）以外では使用できません。



確認

表示以外で使用しますと、不完全燃焼により一酸化炭素中毒になったり、爆発点火および機器の故障の原因になります。

この機器の銘板は、本体右側面の下部に貼ってあります。



ガスの種類
形式の呼び

製造年月

電源の確認

銘板には製造年月も表示してあります。サービスを依頼されるときには忘れずに連絡してください。

銘板
(例、13A・12A用)

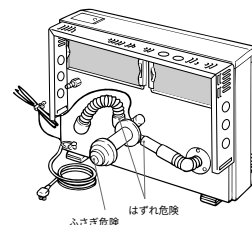
※転居されたときにも、ガス種(ガスグループ)、および電源が一致していることを、必ず確認してください。

※わからない場合お買い上げの販売店、またはもよりのガス事業者(供給業者)に連絡してください。

給排気筒の点検

●給排気筒(管・ホース)をふさいだり、位置をずらして給排気管(管・ホース)が外れないようにしてください。

運転中に排ガスが室内に漏れると、一酸化炭素中毒の原因になります。



確認

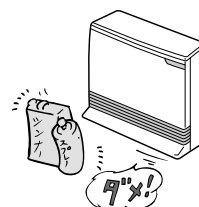
火災予防 爆発予防

●機器の周辺や上、排気口、吹き出し口前方でスプレー缶やカセットこんろ用ボンベなどを使用したり、放置しない。

熱で缶内の圧力が上がり、スプレー缶が爆発するおそれがあります。

●機器や給排気口の周囲ではスプレー、ガソリン、ベンジンなどの引火のおそれのあるものを使用したりしない。

引火、爆発の原因になります。



禁止

⚠ 警告

火災予防 爆発予防

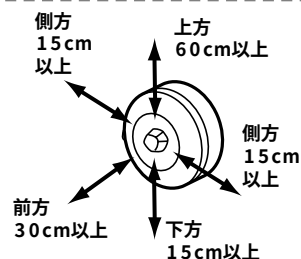
- 給排気トップの近くには危険物（ガソリン、シンナー、灯油、ガスボンベなどの引火物）を置いたり使用したりしない。

爆発、および引火して火災の原因になります。



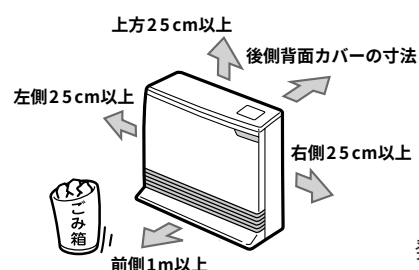
- 給排気トップ周辺の障害物（壁面等）とは、常に右図以上の距離を確保する。

防火上必要な寸法です。



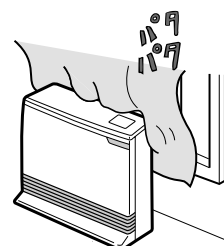
- 機器周辺は常に右図の離隔距離を確保し、燃えやすい物などを置かない。

機器の上や周囲に燃えやすい物を置くと、火災の原因になります。



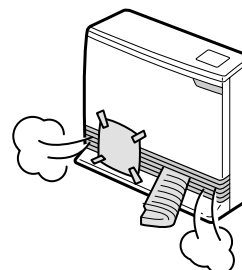
- 機器の上や周囲には燃えやすいものを置かない。また、可燃物（家具、カーテン、洗濯物など）を機器に近づけない。

火災の原因となります。



- 温風吹出し口や空気吸込み口に、紙、布、異物などを入れたり、ふさいだりしない。

火災、および温風温度が高くなり床面の変色、ひび割れの原因になります。



- 運転したまま就寝や外出は絶対にしない。

予期せぬ事故の原因になります。必ずガス栓を閉じてください。



ガス栓を
閉じる

安全に正しくお使いいただくために

使用時の注意

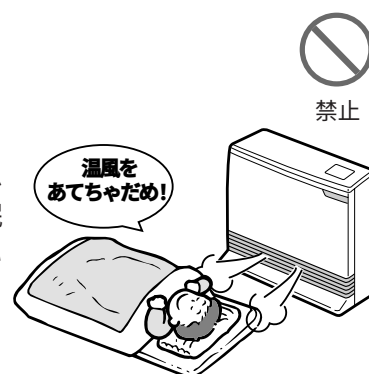
警告

低温やけど 予防

●温風の直接当たる場所で就寝しない。

低温風でも連続的に当たると低温やけどの原因になります。

(特に乳幼児、お子様、お年寄り、病人など、自分の意思で身体を動かせない方。疲労が激しいとき、お酒や睡眠薬を飲まれた方、皮膚や皮膚感覚の弱い方などがお使いのときは、周りの方が注意してください。)



●温風をじかに長時間体に当てない。

体調悪化や健康障害の原因になります。

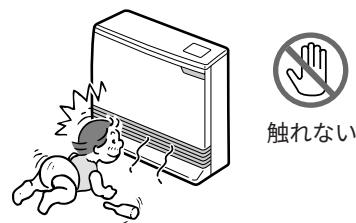
注意

やけど・ ケガ予防

●使用中および使用直後(5分程)は加湿皿への注水はしない。

温風吹出し口にふれない。ルーバーの風向変更はしない。

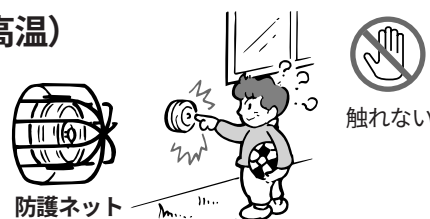
温風吹出し口・及びその周辺は高温になっておりますのでやけどの原因になります。



●給排気トップにふれないこと。(使用中高温)

やけどやケガをする原因になります。

※お子様の手の届く位置へ設置されるときは、防護ネット(別売品)をご利用ください。



●機器の上に乗ったり物を乗せない。

けがややけど、機器変形によるガス漏れ、不完全燃焼のおそれがあります。



●点検やお手入れのときに、温風吹出し口やエアフィルター部のすき間に指を入れないでください。

ケガの原因になります。



●小さなお子様が遊んだり、いたずらしないように注意してください。



思わぬ事故につながるおそれがあります。

●加湿皿の掃除は手袋をして行う。

ケガをすることがあります。



⚠ 注意

やけど・ケガ予防

- 温風吹出し口内部は熱交換器があり、高温です。吸込み口内部はファンが回っています。指や鉛筆など入れない。

やけどやケガの原因になります。

※特に小さなお子様のいるご家庭などご注意ください。



禁止

感電・火災予防

- 電源コードを持って引き抜かない。

電源コードを抜くときは、電源コードを持たずに電源プラグを持って抜く。

電源コードを引っ張ると電源コードが破損し、感電・ショート・火災の原因となります。



禁止

- 電源プラグは根元まで確実に差し込む。

差し込みが不完全な場合、感電や火災の原因になります。また、いたんだ電源プラグ、緩んだコンセントは使わないでください。感電・発熱による火災の原因となります。



確認

- コンセントや配線器具の定格を超える使い方や、交流100V以外で使わない。

たこ足配線などで指定された定格を超えると、発熱による火災の原因になります。



禁止

- 電源プラグは、ぬれた手で触らない。

感電やけがをすることがあります。



禁止

- エアフィルターを外して運転しない。

機器内部へのほこり詰まりによる故障の原因となります。



禁止

- 電源プラグを抜いて停止しない。

電源プラグを抜いて運転を停止しますと機器の過熱の原因になります。



禁止

- 電源プラグにほこりを付着させない。(清掃する。)

電源プラグのほこりなどは、電源プラグを抜き、乾いた布で拭き取ってください。電源プラグにほこりがたまると、湿気などで絶縁不良になり、火災の原因となります。



確認

- 電源コードは、破損したり加工したりしない。電源コードを切断して延長しない。

いたんだ電源コードは使用しない。機器の設置は電源コードがコンセントに届く範囲内とする。

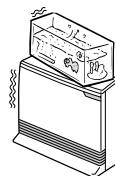
感電や火災などの原因となります。



禁止

- 水のかかる場所に設置しない。また機器の上に花瓶や金魚ばちなどを置かない。

水がかかると、漏電、感電や火災の原因になります。



禁止

- 給排気トップにホースなどで水をかけない。

機器内に水が入ると感電・故障の原因になります。



禁止

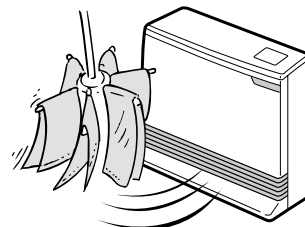
安全に正しくお使いいただくために

使用時の注意

⚠ 注意

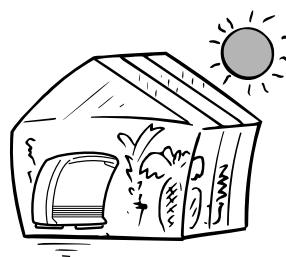
暖房以外の使用禁止

- 衣類の乾燥など暖房以外の用途には使用しない。
過熱や火災の原因になります。



禁止

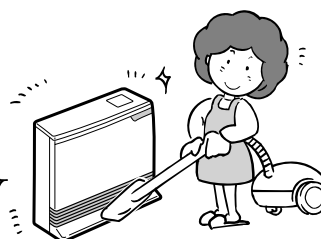
- 乾燥室・温室・動植物の飼育室など特殊な場所への設置はしない。
植物が枯れたり、動物が死亡する場合があります。



禁止

温風吹出し口の手入れ

- 1カ月に1回以上は、温風吹出し口のほこりを電気掃除機などで掃除してください。この場合、必ず対流ファンが止まってから行ってください。
温風吹出し口のルーバーを、強く押さえたり、衝撃を加えたりしますとルーバーが折れたり曲がったりして、温風の方向が変わり、床（カーペット）などが変色することがあります。



掃除する

異常時の注意

⚠ 警告

- 点火しない場合、ご使用中に異常な燃焼、臭気、異常音、異常な温度を感じた場合、または使用途中で消火する場合はただちに使用を中止して、ガス栓を閉めてください。



必ず行う

異常を感じたときは「故障かな？と思ったら」(23ページ)を参照してください。それでもおわかりにならないときは、お買い上げの販売店、またはもよりの当社の支社、支店、営業所、出張所にご連絡ください。

《地震、火災など緊急の場合》

地震、火災など緊急の場合は、ただちに使用を中止しガス栓を閉じる。

- ご自分での機器の分解・修理・移動や再設置はしないでください。

修理・改造には高度な専門知識が必要です。お客様ご自身で、工具を使用しての分解や修理・改造は、絶対に行わないでください。

おもわぬ事故や故障の原因になります。



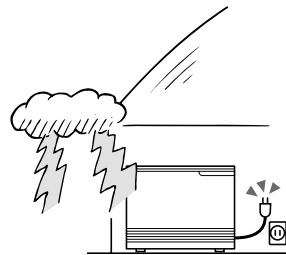
分解、修理禁止

気をつけていただきたいこと

雷のとき には

●雷が発生したときは、すみやかに電源プラグをコンセントより抜いてください。

- ・雷による一時的な過電流で電子部品が損傷することがあります。(使用していなくても電源プラグを差し込んだままですと損傷することがあります。)
- ・使用中に電源プラグを抜きますと機器上部が熱くなったり故障の原因になる場合がありますので、雷が近づく前に運転を停止し、対流ファンが止ってから抜いてください。

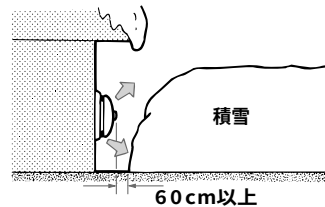


プラグを抜く

積雪に 注意

●給排気トップの周囲に積雪、つららなどがないようにしてください。

積雪で覆われたり、つららの落下により破損したりして、排気がじゅうぶんに排出されなくなると機器の故障の原因になります。

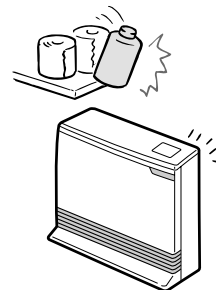


確認

落下物に 注意

●棚の下など落下物の危険のある所では使用しないでください。

機器に落ちますと、機器が破損することがあります。



禁止

特殊な場 所では使 用しない

●美容院、工場など、スプレーや化学薬品を使用したり、綿ぼこりの多い場所では使用しないでください。

シリコンを配合した枝毛用コート、ヘアトリートメント化粧品(枝毛用)は、点火ミスや途中消火など故障の原因となります。



禁止

設置場所

●強い風の吹き込むところでは使用しないでください。

炎が風で消えることがあります。



禁止

●ドアの近くに設置しないでください。

やけどなどのおそれがあり危険です。



禁止

●排ガスが室内に入りやすい場所には設置しないでください。

室内の空気がよごれるおそれがあります。



禁止

機能と特長

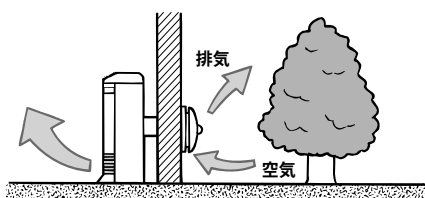
はじめまして、

このガスFF暖房機は、お部屋を快適に暖かくするようと、次のような特長をそろえました。
機能と特長をじゅうぶんに活用していただき、暖かい冬をお過ごしください。

FFタイプ

クリーン暖房です。

屋外より燃焼に必要な空気を取り入れ、燃焼排ガスを屋外へ排出する強制給排気方式（FF方式）ですから清潔・安心です。

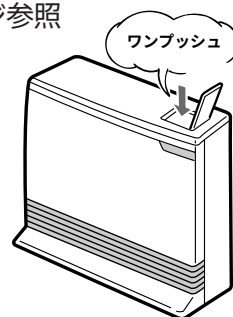


ワンプッシュ点火

カンタン操作です。

運転／停止は、運転スイッチを押すだけのワンプッシュ操作です。

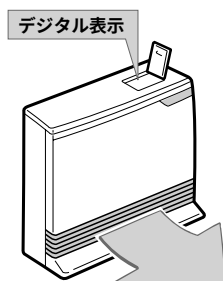
☞ 14ページ参照



室温調節・室温表示機能付

お部屋の中は、 快適暖房です。

お部屋の温度を、お好みの室温に設定しておく調節機能（ガス比例制御式）が、ガス量と風量をコントロールし、快適な室温に保ちます。設定室温・現在室温は、デジタルで表示します。☞ 15ページ参照



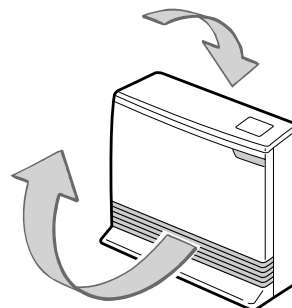
また、表示部は異常時の故障内容などの情報を表示しお知らせします。

☞ 21ページ参照

温風下吹出し

足もとから暖かい。

温風は、足もとから吹出します。部屋の空気を循環させながら暖房するのでむらがなく快適です。



大 能 力

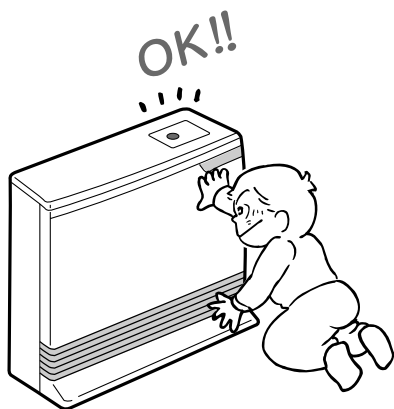
能力80号の大スペース用ですから学校・事務所などに最適です。

操作ふたカギ付

操作ふたはカギができます。

小さなお子様がいたずらしても、勝手に運転しないよう、操作ふたはカギができます。

☞14ページ参照

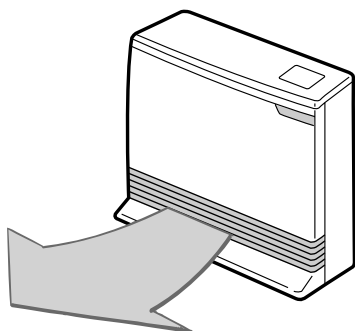


急速暖房運転機能付

寒い朝でもすぐに暖か。

通常より約15%のパワーアップ運転で、す早く暖めます。

☞16ページ参照



安全装置付

安心暖房

使用中の万一の事故を未然に防ぐ各種安全装置付です。

●立消え安全装置

●過熱防止装置

⋮

各種の安全装置付

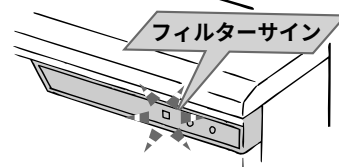
☞27ページ参照

フィルターサイン付

エアフィルターのほこりの詰まりをお知らせします。

エアフィルターのほこり詰まりをお知らせするフィルターサイン付。サインが点滅したら、フィルターの掃除をしてください。

☞20ページ参照



記憶機能付

設定室温を忘れません。

たとえ停電しても、設定室温の選択は記憶しています。

☞16ページ参照

加湿皿付

乾燥から守ります。

吹出し口の内部に加湿皿が付いています。

☞17ページ参照

※くわしくは参照ページをごらんください。

各部の名称とはたらき

FF暖房機の各部の名称とはたらきを紹介します。

外 観

注意ラベル

使用上での注意事項が表示してあります。
ご使用前にお読みください。

加湿皿

内部に加湿皿があります。
☞ 17～19ページ参照

温風吹出し口

温風の出口です。

加湿皿注水ふた

加湿皿に注水するとき
ここを開きます。
☞ 17ページ参照

操 作 部

ふたの中にあります。
☞ 12ページ参照

操作ふたカギ

ふたにカギをすることにより
いたづらを防止します。
☞ 14ページ参照

表 示 部

☞ 12ページ参照

銘 板

ガス種・電源などが表示
してあります。
☞ 13ページ参照

エアフィルター

空気中のほこりが機器内
へ入るのを防ぎます。
☞ 20ページ参照

ガス接続口

ガスの取入口です。

室温サーミスター

室温を検知します。
☞ 15ページ参照

電源プラグ

電源コード

排気筒外れ検知リード線

給 気 筒

排気スライド管

排気エルボ

給排気トップ

別売品です。

操 作 部

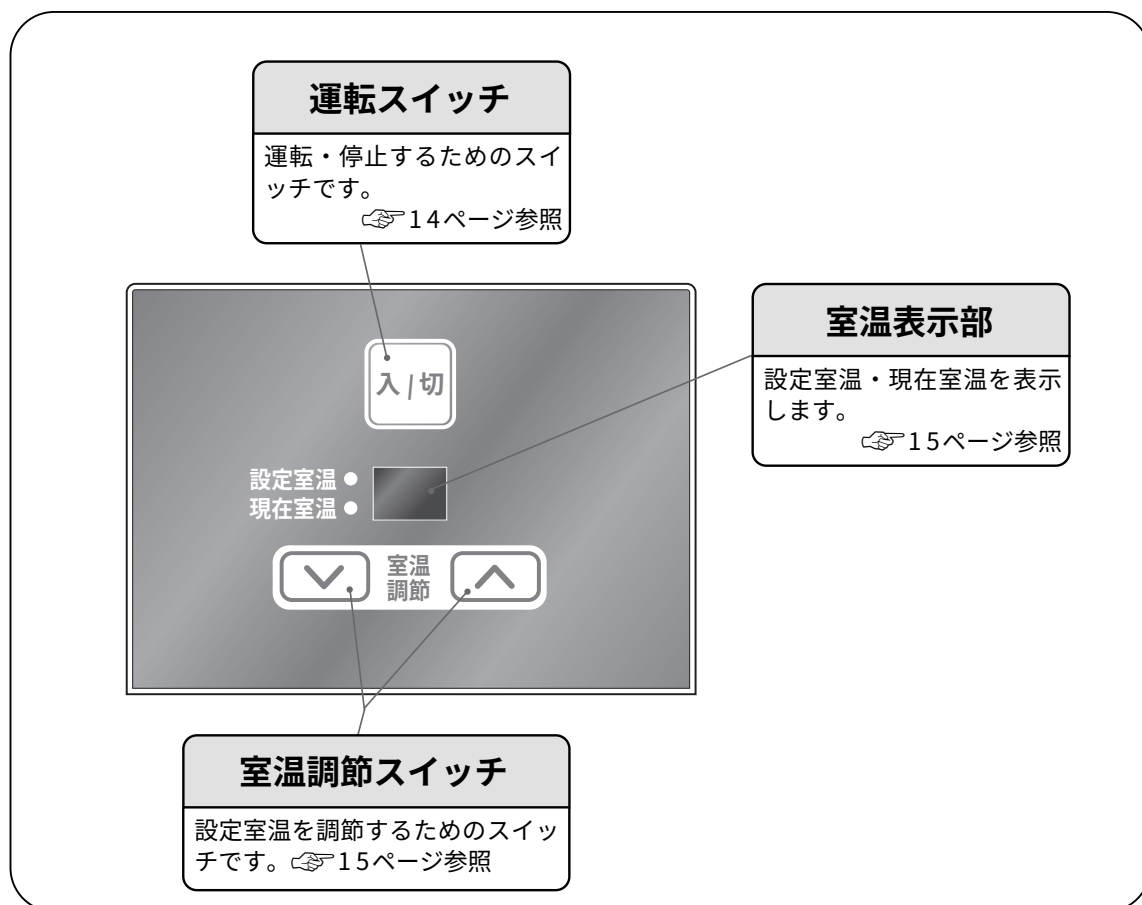
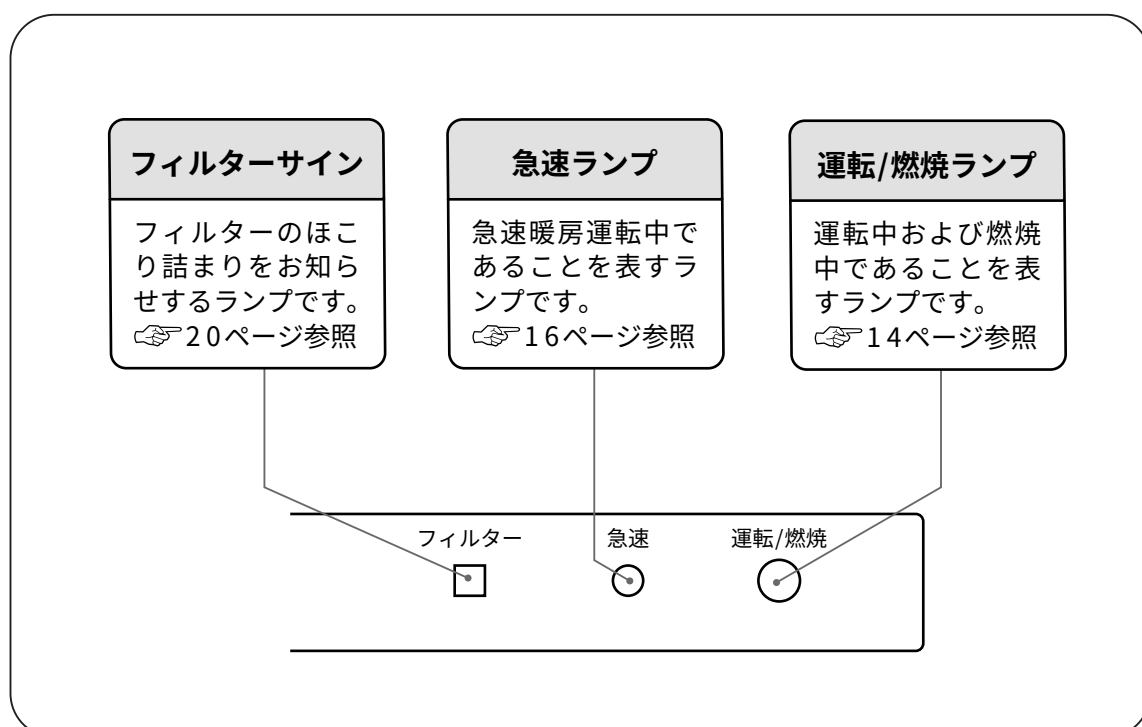


表 示 部



使用方法

FF暖房機の使いかたです。お使いになられるときには必ず1～8ページの「安全に正しくお使いいただくために」をお読みのうえ、安全な状態で使用してください。

初めてお使いになるときは

⚠警告



確認

- 機器銘板に表示してあるガス(ガスグループ)と使用ガスが合っているか確認してください。
- 電源電圧がAC100V(50-60Hz)であることを確認してください。

■ガス種・電源・製造年月の確認

ガス種・電源(定格)電圧・製造年月は、機器右側面の銘板に表示してあります。

■電源コードおよび電源プラグの確認

⚠注意



確認

- 電源コードの引き回しが放熱(排気筒の放熱など)を受けない所にあるか確認してください。

電源プラグをコンセントに確実に差し込み接続してください。

■お部屋のガス栓を全開にします。

暖房シーズン前に注意していただきたいこと

■給・排気筒接続の確認

⚠危険



確認

- この暖房機をお使いになるシーズンの前には、給・排気筒が抜けたり、折れ曲がったりしていないか必ず確認してください。

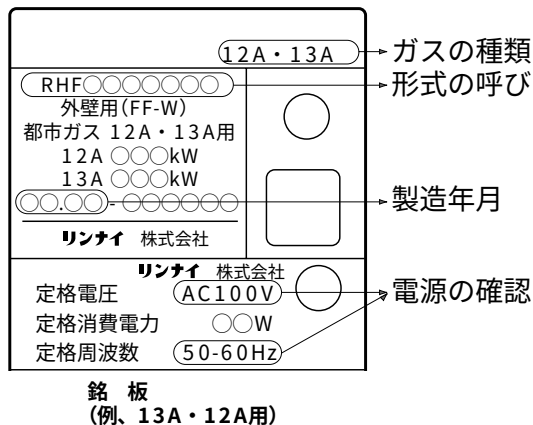
■機器本体と給排気トップ周辺の確認

⚠警告



確認

- 機器本体・給排気トップの周辺にスプレー缶、ガソリン、ベンジンなど引火物や可燃物が置かれていないか確認してください。



お願い

給・排気筒の異常が見つかりましたら、ご使用にならないで、お買い上げの販売店または、もよりの当社の支社、支店、営業所などへご連絡ください。

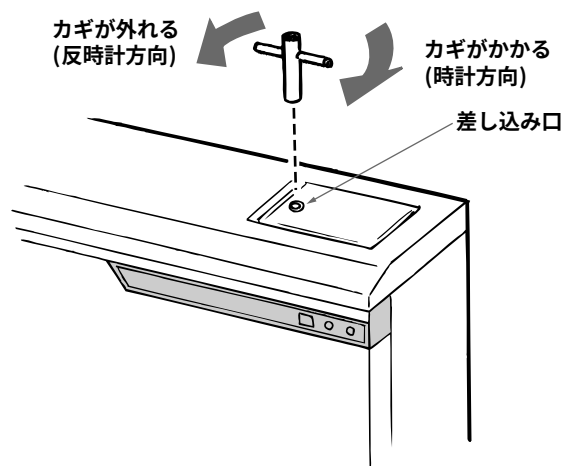
操作ふたのカギのしかた

- 小さなお子様のいたずらによる事故を防止するため、操作部のふたはカギができる様になっています。
- 付属品の専用キーでカギをしてください。



お願い

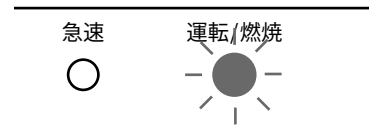
専用キーを紛失されますと、カギがかかったまま開かなくなりますので、大切に保管してください。(付属品として2個入っています。)



運転のしかた

■運転スイッチを押します。

- 「運転／燃焼」ランプが緑色に点灯し、約20秒後にスパーク音がします。
点火すると、「運転／燃焼」ランプが緑色から赤色に変わり、バーナーに点火したことをお知らせします。
- 「運転／燃焼」ランプが赤色に変わってから約20秒後に温風がでます。



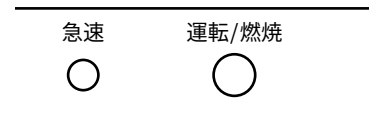
お願い

- 初めてご使用になるときや、しばらく使わなかったときは、運転操作をしても配管内に空気があるため、1回の操作で点火しないことがあります。
- スパーク音がして、約15秒程たっても点火しないときには、自動的に運転を停止します。そのときには、いったん停止させ、再度運転操作を行ってください。

停止のしかた

■運転スイッチを押します。

- 「運転／燃焼」ランプが消えます。
- 消火後、対流ファンは数分間回転し続けてから停止します。(機器内の温度が低くなるまで冷やすためです。)
この間は、電源プラグを抜かないでください。



⚠ 注意



禁止

- 機器の運転中は、お部屋のガス栓の操作による停止や、電源プラグの引き抜きによる停止を行わないでください。故障の原因になります。

使用方法

室温調節のしかた

■「室温調節」スイッチを押し、室温を設定します。

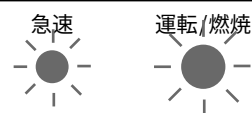
- 初めて運転されるときは、設定室温が22℃にセットされています。
- 室温表示部を見ながら「室温調節」スイッチの「」スイッチまたは「」スイッチを押し好みの設定室温をセットしてください。
- 設定室温は「L」（約10℃）、「16」～「30」、「H」（連続して強燃焼）の範囲でセットできます。



- 「室温調節」スイッチでセットした設定室温よりも、現在室温の方が高いときは、点火後、約90秒で、室温コントロールが働き消火します。設定室温よりも現在室温が低くなるまで再度点火動作に入りません。
- 自動室温調節により、燃焼が停止するときがあります。そのときは、「運転／燃焼」ランプが赤色から緑色に変わります。
- 室温表示は、機器裏面の室温サーミスターの温度を表示していますので、お部屋の温度とは若干異なります。室温表示は目安としてください。
- お部屋の構造、設置場所、室外温度などによっては、設定された室温にならない場合があります。

急速暖房運転

- 寒い朝など、お部屋を早く暖めるために設定室温より現在室温が低い場合に
限って、運転開始から15分以内の急速暖房運転を自動的に行います。
- 急速暖房運転中は表示部の「急速」ランプが点灯します。



お願い

- 運転開始から15分以内に限って強燃焼よりさらに大きな能力を出して運転しますが、お部屋の温度が設定室温（室温調節スイッチでセットされた温度）より高いときや運転スイッチを入れてから15分以上経過したときは、急速暖房運転はされません。
- 再度急速暖房運転を行いたいときは、一旦停止させてから、再度運転操作をしてください。

記憶機能

- 電源プラグを抜いたり、停電しても一度セットした設定室温は記憶しています。
- 次回運転するときは、同じ設定となります。

使用方法

お部屋が乾燥するときは、加湿皿へ注水し加湿してください。

加湿皿への注水のしかた

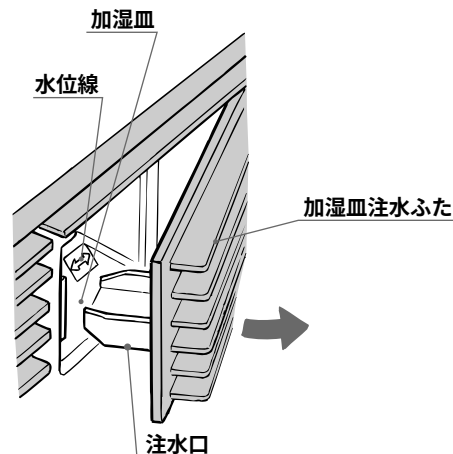
■加湿皿注水ふたを開きます。

- ルーバーをつまんで引きます。

■注水口に注水します。

- やかんなどで静かに水位線まで水を入れます。注水が完了しましたら加湿皿注水ふたをもとにもどします。

※加湿量は(強連続運転、室温20℃にて)1時間あたり約250ccです。加湿量が不足の場合、市販の加湿器をご使用ください。



△注意



禁止

- 使用中および使用直後（5分程）は、熱くなっています。加湿皿への注水はやけどをするおそれがありますので行わないでください。



お願い

- お部屋が結露しやすい状態のときは、注水をさけてください。
- 加湿皿に注水時、水位線を超えないように注水してください。(容量、約3000cc)

加湿皿注水ふたロックのしかた

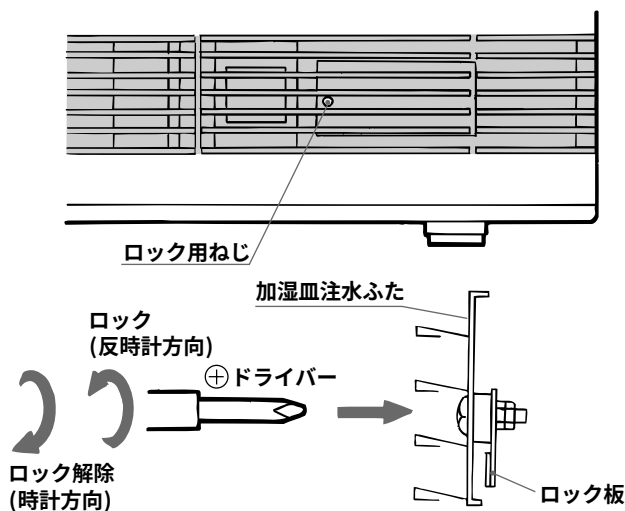
小さなお子様のいたずらによる事故を防止するため加湿皿注水ふたは旋錠できるようになっています。

■ロック

- ロック用ねじを⊕ドライバーで左へ回します。

■ロック解除

- ロック用ねじを⊕ドライバーで右へ回します。



加湿皿の取外しかた

暖房シーズンが終わったときに行ってください。

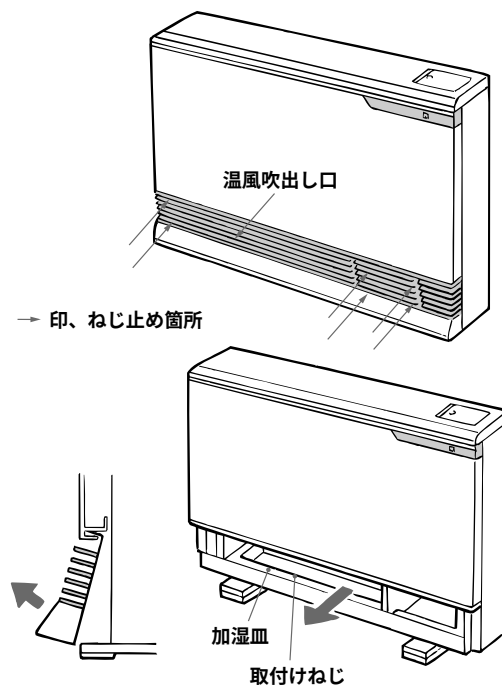
- 温風吹出し口の取付けねじ6本を⊕ドライバーで外します。
- 温風吹出し口を下図の様に下部を手前に引いて外します。注水口が引っ掛る場合がありますので注意してください。外しにくい場合は、注水口を開けて取外してください。
- 加湿皿取付けねじを外して加湿皿を持ち上げながら取り出します。
- 清掃後は逆の手順にしたがい必ず加湿皿を取付けます。(忘れずと異常加熱の原因になります。)

⚠ 注意



手袋をする

- 掃除・お手入れは、けがを防ぐためにも必ず手袋をはめて行ってください。



風向き調節のしかた

■ 風向きは左右にかえることができます。

ドライバーなど適当な棒で左右ルーバーの向きをかえ調節します。

⚠ 注意



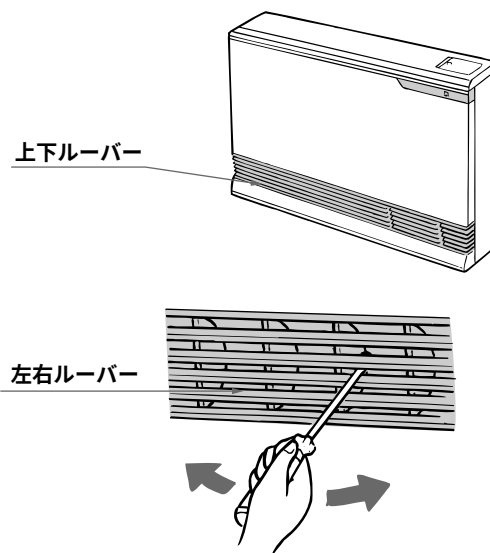
禁止

- 使用中および使用直後（5分程）は、風向きの調節は行わないでください。吹出し口周辺は熱くなっており、やけどをするおそれがあります。



お願い

- 調節は何回も行うとルーバーが折れる場合がありますので、5～6回程度までとし、それ以上は行わないでください。
- 上下ルーバーは固定式ですので調節できません。



お手入れのしかた

安全にお使いいただけるよう点検とお手入れは定期的に行ってください。

日常の点検

■機器が冷えているときに、行ってください。

⚠危険



確認

- 給・排気筒の接続部が外れていないか確認してください。

⚠警告



分解禁止

- エアフィルター・加湿皿以外の部品は絶対に分解しないでください。

⚠注意



確認

- 給排気トップにカバーなどがしてあったり、近くに可燃物など置いていないか確認してください。
- ガス管、電源コードが高温部に触れたり破損していないか確認してください。

器体のお手入れ

やわらかい布をぬるま湯でぬらして、よくしぼってから拭いてください。



お願い

- ベンジン、シンナーなど揮発性の物は絶対にご使用にならないでください。
塗装の色があせたり樹脂の部品が変形したりします。
- 機器本体には安全に関する注意ラベルが張ってあります。汚れたり読めなくなったときは、やわらかい布などで汚れを拭き取ってください。また、お手入れの際には、はがれないようにご注意ください。もしはがれたり、読めなくなった場合は、お買い上げの販売店、またはもよりの当社の支社、支店、営業所、出張所で新しいラベルを再購入のうえ、張り替えてください。

加湿皿のお手入れ

- 加湿皿が水アカやゴミで汚れたときは18ページの加湿皿の取外しかたにしたがい加湿皿を取外して水洗いしてください。
- 掃除が終わりましたら、もとどおりに加湿皿を取付けてください。
- 加湿皿は、ホーロー仕上げになっています。床へ落としたり衝撃を加えたりすると、ホーローが破損する場合があります。

⚠注意



手袋をする

- 加湿皿の清掃・お手入れはケガを防ぐために手袋をはめて行ってください。



お願い

- 長期間お使いになると、水にとけ込んでいるいろいろな成分が蒸発した後に白い粉として残り、加湿皿内部に付着します（特に害になることはありません。）
- また、水を入れたまま使用しないでくと水アカや藻が発生して不衛生です。いずれも加湿皿を取り出して水洗いします。

温風吹出し口のお手入れ

- 1カ月に1回以上は、温風吹出し口のほこりを電気掃除機などで掃除してください。このときは、必ず運転を止め、機器が冷えてから行ってください。
- 温風吹出口のルーバーを、強く押したり、衝撃を加えたりしないでください。ルーバーが折れたり、曲がったりして、温風の方向が変わり、床（カーペットなど）が変色することがあります。
- 温風吹出し口に白い粉や汚れが付着することがありますが、異常ではありません。
やわらかい布で、拭き取ってください。



お願い

掃除・お手入れは、ケガを防ぐためにも手袋をはめて行うことをおすすめします。

エアフィルターのお手入れ

フィルターサインが点滅したときは必ず掃除をしてください。

- エアフィルターに、ほこりやゴミがたまると、フィルターサインが点滅します。このときは必ず運転を止め、機器が冷えてから、すみやかに掃除してください。
- フィルターサインが点滅していなくても、ほこりがたまっていると思われるときは、お部屋の掃除などのときと一しょに、1週間に1回程度掃除されると簡単で気持ちよくお使いいただけます。
- エアフィルターは、取外すことができますのでフィルターの表・裏のほこりを電気掃除機や、はたきでよく掃除してください。
- 油などで特に汚れたときは、洗剤で手早く洗い、水気をよくはらってから、じゅうぶんに乾燥させてください。
- 掃除が終わりましたら、確実にエアフィルターを取付けてください。

△注意



禁止

- エアフィルターを外したまま運転すると故障の原因になります。

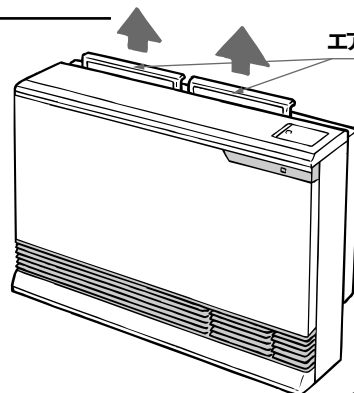
フィルター



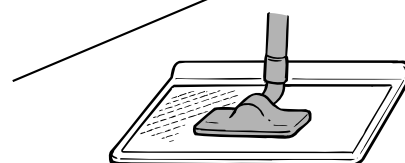
急速



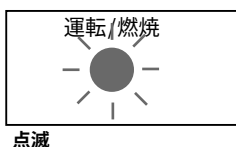
エアフィルター



エアフィルターは
上に引き抜くと外れます。



- フィルターサインが点滅したままご使用を続けると、センサーが異常と判断し、自動的に運転を停止することがあります。
- 停止すると室温表示部に「14」を表示し、「運転／燃焼」ランプが点滅し、安全装置が働いたことをお知らせします。
このようなときは、エアフィルターをすみやかに掃除してください。（☞21ページ参照）



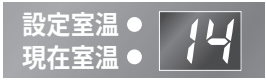
室温表示部

設定室温 ●
現在室温 ● 14

点滅

安全装置が作動したときの処置

万一のとき、以下の安全装置が働きガスを止めます。安全装置が働いたときは、表示部の故障表示と「運転／燃焼」ランプの点滅でお知らせします。

安全装置作動時の表示		安全装置	働 き
「室温表示」ランプ	「運転／燃焼」ランプ		
「53」点滅 	 点 滅 (赤色)	ス パ ー ク 安 全 装 置	点火時スパークが正常に飛ばないときに作動し運転を停止させます。
「12」点滅 		立消え安全装置	使用中にバーナーの炎が消えた場合に安全装置が働き、生ガスの放出を防止します。
「11」点滅 			点火時、バーナーが着火しなかったときなどに安全装置が働き、生ガスの放出を防止します。
「14」点滅 		過 熱 防 止 装 置 (温度スイッチ)	機器内が異常過熱したときに、ガスを止め運転を停止させます。
※フィルターサイン点滅		過 熱 防 止 装 置 (温度ヒューズ)	機器内が異常過熱したときに、ガスを止め運転を停止させます。
消灯 	○ 消 灯	過電流防止装置 (電流ヒューズ)	過電流が流れたときに、ヒューズを切り運転を停止させます。
消灯 	(停電) ○ 消 灯	停電時安全装置	停電中は使用できません。安全装置が働き、ガス通路を止め運転を停止させます。
「00」点滅 	(再通電) 0.2秒以上の停電  点 滅 (赤色)		
「90」点滅 	 点 滅 (赤色)	排 気 筒 外 れ 検 知 装 置	排気筒が外れたときに作動し、運転を停止させます。



安全装置が作動したあと、点検して再点火しても、たびたび同じような作動を繰り返すような場合や、下表の安全装置作動時の表示にない表示が出たときは、お買い上げの販売店または、もよりの当社の支社、支店、営業所などへご連絡ください。

原 因	処 置 方 法
点火装置の故障のときに作動します。	修理が必要です。お買い上げの販売店または、もよりの当社の支社、支店、営業所などへご連絡ください。
ガス栓が開きたりなかったときや、強い風が吹いたときなどに作動します。	点検後、再運転してください。
ガス栓が閉まっていたり、開きたりなかったときなどに作動します。	
エアフィルターがほこり詰まりしていたり、または温風吹出し口に障害物があるときなどに作動します。	エアフィルター部の掃除や、障害物を取除いた後しばらく（5～6分）してから再運転してください。（電源プラグは対流ファンが回っているあいだは抜かないでください。）
異常過熱状態になったときに作動します。	機器を冷やしても再運転できません。修理が必要です。お買い上げの販売店または、もよりの当社の支社、支店、営業所などへご連絡ください。
電気回路がショートしたときなどに作動します。	修理が必要です。お買い上げの販売店または、もよりの当社の支社、支店、営業所などへご連絡ください。
停電したときに作動します。	通電したら、再運転してください。（停電中は、ガス栓を閉めておいてください。）
強い外力などにより排気筒が外れたときに作動します。	修理が必要です。お買い上げの販売店または、もよりの当社の支社、支店、営業所などへご連絡ください。

故障かな？と思ったら

故障かな？と思ってもよく調べてみると故障でない場合もあります。
修理を依頼する前に、もう一度次の点をお調べください。

次のことを調べてください。

現 象	点 検 の ポ イ ン ト	参 照 ペ ー ジ
運転スイッチを押しても運転しない。 (「運転／燃焼」ランプが緑色点灯しない)	●電源プラグがコンセントにしっかり入っていますか。 ●ご家庭のヒューズやブレーカーが切れていませんか。 ●停電ではありませんか。	13 — 21
点火しない (「運転／燃焼」ランプが赤色点灯に変わらない)	●お部屋のガス栓が全開になっていますか。 ●ガス管内（ガスホース）に空気が残っていませんか。	13 14
使用中に消火する	●エアフィルターに、ほこりがたまっていますか。 (フィルターサインは点滅していませんか) ●温風吹出し口がふさがっていませんか。 ●給排気トップの先端がふさがっていませんか。 ●室温調節が働いていませんか。 (「運転／燃焼」ランプが緑色で点灯している)	20 4 8 15
よく暖まらない	●設定室温が低くありませんか。 ●部屋の窓や戸が開いていませんか。 ●お部屋のガス栓は全開になっていますか。	15 — 13
ガス臭い	●ガスの接続は、確実ですか。 ●強化ガスホースがいたんでいませんか。	1 —

こんなときは故障ではありません。

現 象	原 因 と 対 策
シーズン始めや、長時間運転しなかった後、なかなか点火しない。 (「運転／燃焼」ランプが赤色点灯しない)	点火(「運転／燃焼」ランプが赤色点灯)するまで点火操作を繰り返します。
初めて運転したときや、シーズン始めには、煙やにおいが出る。	内部の熱交換器などに付着している油やほこりが焼けるためです。しばらく換気しながらご使用ください。また、フローリングのワックスなどが温風に加熱されて、におうことがあります。
点火したときや、消火した後「コツン」「コツン」という音がする。	ガス通路を開閉するための電磁弁(電気で開閉するガス弁)が作動するときの音です。
点火したとき、「ポッ」という音がする。	点火音がする場合があります。
運転してもすぐ温風が出てこない。	冷風を出さないようにしてあります。機器内部が暖まると、自動的(点火後約20秒程して)に温風が出はじめます。
運転中に「シャー」と音がする。	ガスの通過音がする場合があります。
点火後や、消火後に「チリ」「チリ」とキシミ音が出る。	熱交換器などが加熱や冷却される際に金属が膨張・収縮して起こる音です。
停止してもすぐに対流ファン(温風)が停止しない。	機器内部を冷やしてから自動的に止まります。
誤って電源プラグを抜いてしまったため、すぐ差し込んで運転操作をしたが点火しない。	内部が冷えるまで数分間待ってから再度、運転操作をしてください。
寒い日、給排気トップから白い煙が出る。	排気ガス中の水蒸気が湯気として白く見えるもので異常ではありません。

このほかに異常があるときや、おわかりにならないときは、お買い上げの販売店または、もよりの当社の支社、支店、営業所などへご連絡ください。

⚠警告



分解、修理
禁止

不完全な処置は、事故のもとになりますので、絶対にお客様ご自身での分解、修理はしないでください。

長期間使用しない場合・保守点検

シーズンオフ（長期間使用しない場合）

- シーズンオフには、お手入れをしてください。 (☞ 19ページ参照)
 - 温風吹出し口を外し、加湿皿の水を取出してください。 (☞ 19ページ参照)
 - エアフィルターのほこりを取除いてください。 (☞ 20ページ参照)
 - よくお手入れのうえ、ガス栓を閉め、電源プラグはコンセントから必ず抜いてください。
- 「取扱説明書」を紛失しないようにしてください。
- シーズンオフにも設置したままにされることが原則です。
- やむなく、取外して収納する場合は、お買い上げの販売店または、もよりの当社の支社、支店、営業所 などへ作業をご依頼ください。(有料)

⚠警告



依頼

- お客様自身で移動したり、設置したりしないでください。
- 機器の下にあるじゅうたんや畳などを交換する場合はお買い上げの販売店または、もよりの当社の支社、支店、営業所などへご相談ください。(作業が必要な場合は有料です)

3年毎の保守点検について

- FF暖房機を長期間、快適にお使いいただくためには、日頃のお手入れはもちろんですが、定期的な保守点検が必要です。3年毎の保守点検をおすすめします。
- 保守点検の費用はお客様のご負担になります。

■保守点検の内容

- 専門のサービス員がFF暖房機の性能、機能について正常であるかを診断し、必要に応じて修理作業、簡単な清掃を行います。
(修理が必要なときは、お客様にご相談のうえ、実施するか否かを決定します。)

点検項目は次の内容です。

- ① 設置状態〔給・排気筒接続、ガス接続〕
- ② 燃焼室周辺
- ③ ガス通路
- ④ 電気特性
- ⑤ 操作性
- ⑥ 安全装置

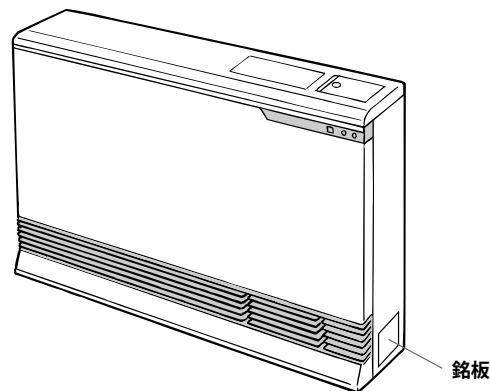
アフターサービスについて

■サービスを依頼するときは、

23ページの「故障かな？と思ったら」の項を見てご確認ください。それでも直らない場合、あるいはご不明な場合には、ご自分で修理なさらないで、お買い上げの販売店、または、もよりの当社の支社、支店、営業所などへご依頼ください。

アフターサービスをお申しつけのときは、次のことをお知らせください。

- (1) おところ（建物名、部屋番号）、お名前、電話番号
- (2) 製品名…FF暖房機
- (3) 形式の呼び…機器右側面の銘板に記載してあります。
（詳しくは13ページをご覧ください。）
- (4) ガスの種類…機器右側面の銘板に記載してあります。
（詳しくは13ページをご覧ください。）
- (5) 現象（表示の状態などできるだけ詳しく）
- (6) 訪問ご希望日



■転居されるときは

⚠警告



依頼

- ガスには都市ガス13種類およびLPガスの区分があります。電源の周波数にも50Hz、60Hzがあります。ガスや電源の種類が異なる地域へ転居されるときには、部品の交換や調整が必要となりますので、転居先のガスや電源の種類を確認のうえ、転居先のもよりのガス事業者にご相談ください。改造による費用は保証期間中でも有料となります。

- この機器は12A・13AおよびLPガスの供給地域においてのみ、部品の交換や調整によりご使用になれます。

■据付場所を変更するときは

⚠警告



依頼

- 据付場所を変更されるときは、お買い上げの販売店、またはもよりの当社の支社、支店、営業所などにご依頼ください。

■保証について

- 取扱説明書の裏表紙が保証書になっています。
必ず「販売店名、購入日」などの記入をお確かめになり、保証書内容をよくお読みの後、大切に保管してください。
- 無料修理期間経過後の故障修理については、故障修理によって機能が維持できる場合、有料で修理いたします。

■補修用性能部品の保有期間について

- この機器の補修用性能部品の保有期間は製造打切後7年です。
（性能部品とは、製品の機能を維持するために必要な部品です。）
ただし、保有期間経過後であっても補修用性能部品の在庫がある場合は、有料修理いたします。

■お客様の個人情報の取り扱いについて

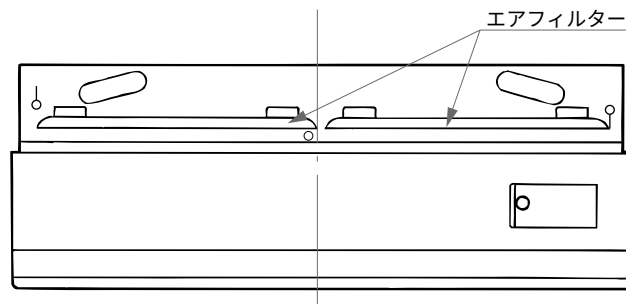
- 当社はお客様よりお知らせいただいたお客様のお名前・ご住所・電話番号などの個人情報を、サービス活動および安全点検活動のために利用させていただく場合がございますのでご了承ください。
- 当社は、機器の修理や点検業務を当社の協力会社に委託する場合、法令に基づく義務の履行または権限の行使のために必要な場合、その他正当な理由がある場合を除き、当社以外の第三者に個人情報を開示・提供はいたしません。

仕様

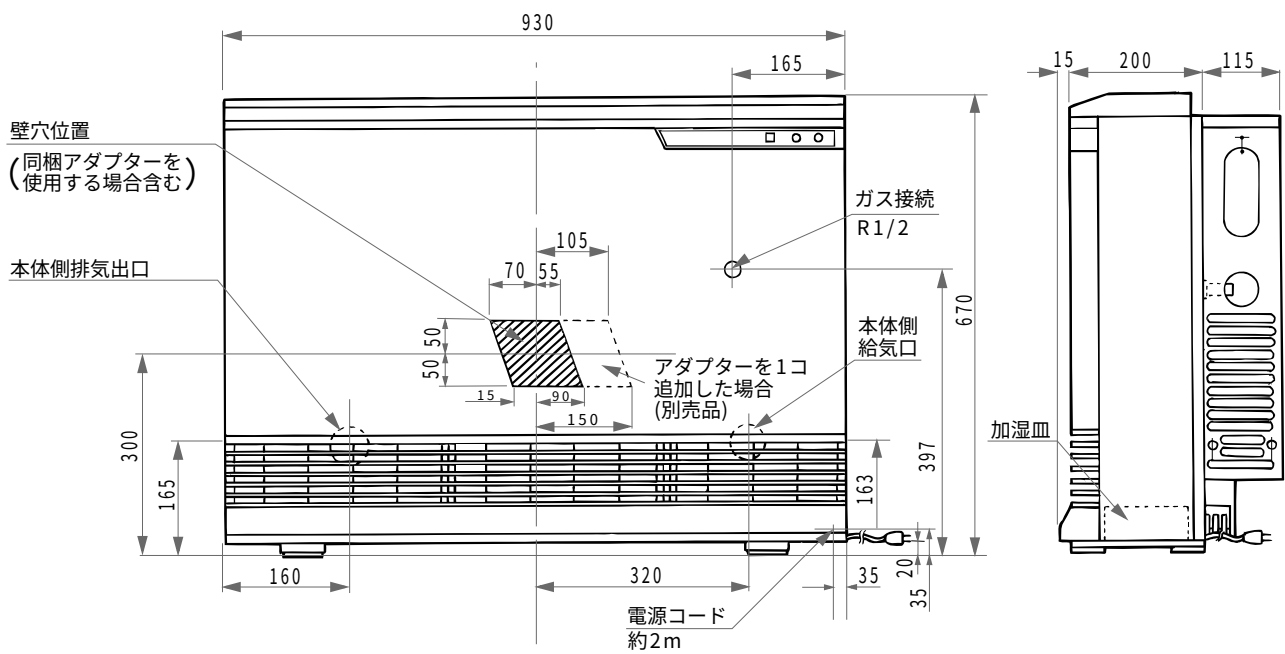
品 名		RHF-1004FⅢ
形 式 の 呼 び		RHF-1004FⅢ-1,-2
種 類	燃 焼 方 式	強制燃焼式
	給 排 気 方 式	密閉式
	放 熱 方 式	強制対流式
点 火 方 式		連続スパーク点火
外形寸法(単位mm)		高さ670×幅930×奥行315(本体200)
質 量 (本 体)		41kg
暖房適室	木 造	24畳まで(寒冷地24畳まで)
	コ ン ク リ ー ト	32畳まで(寒冷地38畳まで)
電気関係	電 源	AC100V 50-60Hz
	消 費 電 力	117W(通電時 3W)
	電 源 コード長さ	約2m
給排気筒	壁 貫 通 部 穴 径	80mm
	延 長 最 大 長 さ	4m3曲り
安 全 装 置		過熱防止装置(温度サーミスター、温度スイッチ、温度ヒューズ) 過電流防止装置(電流ヒューズ) 漏電安全装置 立消え安全装置(フレイムロッド3本) 停電時安全装置 排気筒外れ検知装置
ガ ス 接 続		R 1/2 (TU接続可)
付 属 品		標準据付け部品一式 取扱説明書(保証書付)事業所一覧 設置工事説明書 操作ふた専用キー(2個)

使用ガス・使用ガスグループ			形式の呼び	1時間当たりのガス消費量
都市ガス用	13A	_____	RHF-1004FⅢ-2	11.2kW(9600kcal/h)
	12A	_____	RHF-1004FⅢ-2	10.4kW(8950kcal/h)
L P ガ ス			RHF-1004FⅢ-1	10.8kW(0.77kg/h)

寸法図



単位：mm



MEMO

MEMO

形式の呼び
RHF-1004FⅢ-1,-2

リンナイガスFF暖房機 保証書

この製品は厳密なる品質管理および検査を経てお届けしたものです。
本書は、お客様の正常な使用状態において万一故障した場合に、本書記載内容で無料修理を行うことをお約束するものです。

記

- 保証期間は、お買い上げの日から1年間とし、機器本体を対象とします。
保証期間中故障が発生した場合は、本書をご提示の上、お買い上げの販売店に修理をご依頼ください。
- ご転居の場合は、事前にお買い上げの販売店にご相談ください。
- ご贈答品などで本保証書に記入してあるお買い上げの販売店に修理がご依頼できない場合には、別添の「連絡先」一覧表をご覧ください。お近くのリンナイ支社・支店・営業所・出張所にご相談ください。
- 本保証書は再発行いたしませんので大切に保管してください。
- 保証についての規定は下記をご覧ください。

見 本

無料修理規定

- 取扱説明書、本体貼付ラベルなどの注意書に従った正常な使用状態で故障した場合には、お買い上げの販売店またはもよりの弊社窓口が無料修理いたします。
 - 保証期間内に故障して無料修理を受ける場合は、お買い上げの販売店にご依頼の上、出張修理に際して本書をご提示ください。なお、離島および離島に準ずる遠隔地への出張修理を行った場合には、出張に要する実費を申し受けます。
 - 保証期間内でも次の場合には有料修理になります。
 - (イ) 使用上の誤りおよび不当な修理や改造による故障および損傷。
 - (ロ) お買い上げ後の取付場所の移動、落下などによる故障および損傷。
 - (ハ) 火災、水害、地震、落雷その他の天災地変、公害や異常電圧による故障および損傷。
 - (ニ) 一般家庭以外（例えば、業務用の長時間使用、車両、船舶への搭載）に使用された場合の故障および損傷。
 - (ホ) 本書の提示がない場合。
 - (ヘ) 本書にお買い上げ年月日、販売店名の記入のない場合あるいは字句が書き替えられた場合。
 - (ト) 指定外の燃料、使用電源（電圧）の使用による故障および損傷。
 - (チ) ご転居などによる熱量変更に伴う改造・調整の場合。
4. 本書は日本国内においてのみ有効です。
This warranty is valid only in Japan.
※ この保証書は本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。従ってこの保証書によって保証書を発行している者（保証責任者）およびそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありません。保証期間経過後の修理などについてご不明の場合は、お買い上げの販売店または別添の「連絡先」一覧表をご覧ください。お近くのリンナイ支社・支店・営業所・出張所にお問合せください。
※ 保証期間経過後の修理、補修用性能部品の保有期間について詳しくは取扱説明書をご覧ください。

お買い上げ日および販売店

お買い上げ日	年 月 日
販売店名	扱 者 印
住 所	
電 話 番 号	

お客様へ

この保証書をお受取りになるときに、お買い上げ日、販売店名、扱者印が記入してあることを確認してください。

リンナイ株式会社

〒454-0802 名古屋市中川区福住町2番26号
TEL 代表052 (361) 8211

連絡先

本社 052(361)8211
東日本営業本部 03(3471)9047
東京支店 03(3471)9047
南関東支店 045(320)3051
東関東支店 043(273)3360
北関東支店 048(667)4321
札幌支店 011(281)2506
東北支店 022(238)8315

〒454-0802 名古屋市中川区福住町2番26号
〒140-0002 東京都品川区東品川1丁目6番6号
〒140-0002 東京都品川区東品川1丁目6番6号
〒221-0856 横浜市神奈川区三ツ沢上町4番10号
〒261-0026 千葉市美浜区幕張西2丁目7-1
〒331-0811 さいたま市北区吉野町1丁目396-1
〒060-0031 札幌市中央区北一条東2丁目
〒984-0002 仙台市若林区卸町東1丁目5-5

新潟支店 025(247)6610
中部支店 052(363)8001
関西支店 06(6786)3601
中四国支店 082(277)5131
広島支店 082(277)5131
高松支店 087(821)8055
九州支店 092(281)3234

〒950-0864 新潟市紫竹2丁目1-74
〒454-0802 名古屋市中川区福住町2番26号
〒550-0014 大阪市西区北堀江3丁目10番21号
〒733-0833 広島市西区商工センター3丁目4番21号
〒733-0833 広島市西区商工センター3丁目4番21号
〒760-0066 高松市福岡町2丁目11番6号
〒812-0029 福岡市博多区古門戸町2番3号



107337

1004F-662(00)
051019 K